

見出し

行を ! で始めると見出しになります。見出しは 3 レベルあります。

! 大見出し
!! 中見出し
!!! 小見出し

大見出し

中見出し

■小見出し

テキスト装飾

シングルクォート 2 つで囲むと ' ' イタリック ' ' になります。
シングルクォート 3 つで囲むと ' ' ' ボールド ' ' ' になります。
これは == 打ち消し線 == です。
これは __ 下線 __ です。

シングルクォート 2 つで囲むとイタリックになります。シングルクォート 3 つで囲むとボールドになります。これは打ち消し線です。これは下線です。

引用

"" これは引用です。
"" これも引用です。

これは引用です。
これも引用です。

説明

: 項目 : 説明文

項目
説明文

:: 項目
::: 説明文は複数行にわけて書くこともできます。
::: こんな感じで。

項目
説明文は複数行にわけて書くこともできます。こんな感じで。

項目

行を * で始めるとリストになります。リストは * の個数に応じて 3 段階までネストすることができます。

* 項目 1-1

** 項目 2-1
** 項目 2-2
*** 項目 3-1
* 項目 1-2
** 項目 2-3

- ・ 項目 1-1
 - ・ 項目 2-1
 - ・ 項目 2-2
 - ・ 項目 3-1
- ・ 項目 1-2
 - ・ 項目 2-3

行を#ではじめると番号付きリストになります。

番号付き項目 1
番号付き項目 1-1
番号付き項目 2
番号付き項目 3

1. 番号付き項目 1
 1. 番号付き項目 1-1
2. 番号付き項目 2
3. 番号付き項目 3

リンク

*<http://www.yahoo.co.jp/>
*[\[Google|http://www.google.co.jp/\]](#)
*[\[FrontPage\]](#)
*[\[トップ |FrontPage\]](#)
*[\[トップの最初の見出し |FrontPage#p0\]](#)
*[\[このページの「リンク」見出し |#p8\]](#)
*<mailto:foo@xxx.dom>
*[メールはこちら |mailto:foo@xxx.dom?subject=TEST&body=TESTMAIL](mailto:foo@xxx.dom?subject=TEST&body=TESTMAIL)

- ・ <http://www.yahoo.co.jp/>
- ・ [Google](#)
- ・ [FrontPage](#)
- ・ [トップ](#)
- ・ [トップの最初の見出し](#)
- ・ [このページの「リンク」見出し](#)
- ・ <mailto:foo@xxx.dom>
- ・ [メールはこちら](#)

テーブル

テーブルを作るには以下のようにします。1行目がヘッダになります。

1-1	1-2	1-3
2-1	2-2	2-3

整形済テキスト

行頭をスペースまたはタブではじめると整形済テキストとして扱われます。

これは整形済テキストです。
入力したとおりに表示されます。

水平線

行頭に ---- と書くと水平線になります。

コメント

行を // ではじめるとその行はコメントとみなされます。コメント行は一切出力されません。

// これはコメントになります。画面には出力されません。

InterWiki

まずは InterWikiName にサーバを記述します。URL の別名アンカをリストとして記述します。必要に応じて別名アンカのあとに続けて文字コードを指定します。

```
*[[Google|http://www.google.co.jp/search?hl=ja&btnG=Google+%8C%9F%8D%F5&lr=lang_ja&q=]] sjis
*[Hiki|http://hikiwiki.org/ja/?] euc
```

次のように使用します。

```
[[Hiki:InterWiki]]
[[Google:Perl]]
```

別名でアンカを作成することも可能です。

```
[[Hiki について |Hiki:about]]
```

Keyword

Keyword にキーワードを記述しておくとは任意のテキストに自動的にリンクがはられます。キーワードは通常の別名アンカをリストで記述しておくだけです。URL と Wiki ページのどちらでも OK です。

```
*[[Google|http://www.google.co.jp]]
*[[Wiki|Wiki クローン]]
```

ヘッダ、フッタ、サイドバー

Header、Footer、Menu という名前のページを作成するとそれぞれヘッダ、フッタ、サイドバーが表示されます。また、EditHelper というページを作成するとページの編集画面の下部にヘルプとして表示されます。